

硬筆指定課題 評価の観点

《小6》 大平恵理 書

始めに、姿勢とえんぴつの持ち方を確かめます。  
正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線の長さ  
と方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と交わり方、  
一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。


※次のむすび方でもよい。「な」「ほ」

								説明の 記号

①

小諸なる古城のほとり

②

小諸なる古城のほとり

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。

氏名は上と下のあきをそろえて、課題の文字より少し小さめに書きます。

小六